



第5回言語聴覚療法技術セミナー

言語聴覚療法における バイオフィードバック訓練 -生体運動の可視化とその活用-

講師 柴本 勇先生(聖隷クリストファー大学)

2021

8/29(日)

13:00~15:30

■講義内容

言語聴覚療法で扱う運動は多岐に渡ります。例えば、口唇運動、下顎運動、舌運動、軟口蓋の運動、披裂運動、喉頭運動、呼吸運動などがあります。また、運動には分離運動や巧緻運動など高度な運動が求められます。同時に、言語聴覚療法実施時には発話にしても嚥下にしても、代償的な運動や動作の獲得という視点を持つ必要もあります。代償的な運動や動作では学習がキーワードとなります。運動学習においては、正確な運動や自身が行っている運動を可視化し、自身で理解しながら獲得することが求められます。しかし、言語聴覚士が扱う口腔顔面、頸部、胸部は表面的に観察すること程度にとどめられているのが実情です。

本セミナーでは、この点に焦点を当てて、正確な運動や新たな運動を学習するために、生体運動を可視化しながらフィードバックし訓練を行っていく方法をご紹介します。

<オンライン開催>

対象
言語聴覚士 ほか

定員
250名

参加費
当研究会会員 無料
非会員 3,000円

※会員として参加される場合、
8/20(金)までに入会手続きを
お済ませください。

申込締切
2021年8月23日(月)
定員になり次第締切ります

申込方法
当研究会ホームページまたは下記のQR
コードからお申し込みください。



言語聴覚療法臨床研究会